

東京藝術大学クローン文化財展

よみがえ

# 甦る世界の文化財

— 法隆寺からバーミヤンへの旅 —

## グローバル美術館が注目

破壊からの再生

芸術と科学の融合

2018.  
7.13 | 金 |  
—  
8.26 | 日 |

休館日：火曜日  
(ただし8月14日は開館)

10:00—17:00  
(入場は16:30まで)

会場  
島根県立美術館  
〒690-0049 島根県松江市袖師町1-5



SILK A JOURNEY  
ROAD FROM HORYUJI  
TO BAMIAN

法隆寺釈迦三尊像(クローン文化財)

# 甦る世界の文化財

— 法隆寺からバミヤンへの旅 —

SILK ROAD  
A JOURNEY FROM HORYUJI TO BAMIAN

文化財は唯一無二の存在であり、その真正性は本来、複製が不可能です。その一方で、文化財の複製の歴史は古く、文化財の記憶をより広く長く継承したいという思いは、普遍的・根源的なものであるといえます。

東京藝術大学は、劣化が進行しつつある或いは永遠に失われてしまった文化財の本来の姿を現代に甦らせ、未来に継承していくための試みとして、文化財をクローンとして復元する特許技術を開発しました。本展では、古代シルクロードの各地で花開いた文化を代表する遺産がクローン文化財として甦ります。

絹の道シルクロードは仏教の道でもあり、インドで生まれた仏教は、シルクロードを通じてギリシア・ローマ・イランなどの文化と融合し、グローバルな文化様式が育まれ、さらに中国において大きな変容を遂げ、東アジア仏教美術の古典様式が形成されました。シルクロード各地の文化財は、それぞれに関係性をもちながら多文化・多様性を体現しており、極めて今日的な意義を有しているといえましょう。

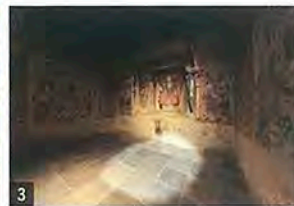
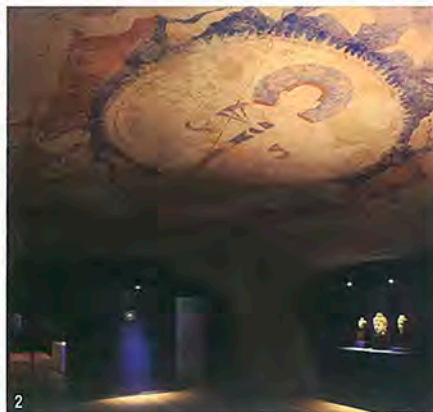
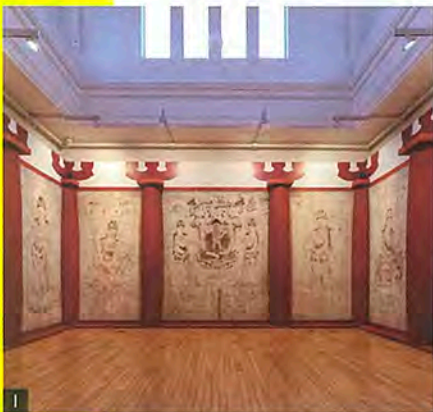
しかし、シルクロードの文化財は現在、様々な危機に面しています。2001年に爆破されたバミヤン東大仏天井壁画、

流出後に第二次大戦の戦火で失われたキジル石窟航海者窟壁画、保存のため一般公開が困難な敦煌莫高窟第57窟、模写作業中に焼損した法隆寺金堂壁画など、この度、再現する作品はいずれも唯一無二の歴史的・芸術的価値が認められながら、惜しくも失われていたり、実物を鑑賞することが難しい作品ばかりです。

クローン文化財の制作にあたっては、オリジナルの精細な画像データを取得し、三次元計測や化学分析を行って、空間・形状・素材・質感・色を忠実に再現します。

さらに島根ゆかりの写真家並河万里※の写真作品（公益財団法人しまね文化振興財団所蔵）で破壊前のバミヤン大仏や迫力あるバミヤン渓谷の自然美の作品で悠久のシルクロードに迫ります。現地の映像、臨場感迫る音、西域をイメージした香りなど、五感でシルクロードを体感できます。また、劣化を防ぐため、非公開の浮世絵（ポストン美術館所蔵）や、立体再現したマネの「笛を吹く少年」、ゴッホの「自画像」（オルセー美術館所蔵）などの世界のクローン美術品も並べます。

収益の一部はNPO法人中村元記念館東洋思想文化研究所への寄付など、地域の文化活動の支援に役立てる計画です。



1:法隆寺金堂壁画(焼損前復元) 2:バミヤン東大仏天井壁画復元 phot:KIOKU Keizo 3:敦煌莫高窟第57窟再現 phot:KIOKU Keizo  
4:フィンセント・ファン・ゴッホ「自画像」 5:エドゥアール・マネ「笛を吹く少年」立体再現 ※展示作品はすべてクローン文化財

## ※ 並河万里 (1931年～2006年)

半世紀にわたり、世界40ヶ国を越える国々で文化財などを記録に残しました。想像力や幻想をはるかに超えた強い感動を「後世にどう伝えるべきか」と自問自答をしながらファインダーをのぞき、祈りを込めてシャッターを切り続けました。フィルムには、戦争や災害、観光地化など様々な破壊から生き残ってきた文化遺産が深々しく残されています。並河万里は2006年5月、74歳で生涯を終えましたが、膨大なフィルムには現代人に明日への希望が託されています。並河万里が遺したフィルムの使命は、永遠に終わらないのです。

2018年7月13日(金)ー8月26日(日) 10:00ー17:00(入場は16:30まで)

休館日：火曜日(ただし8月14日は開館)

入場料：一般1,000円(前売り800円)、小中高生500円(当日のみ)

※団体(20名以上)800円 ※障がい者手帳をお持ちの方：一般500円、小中高生 無料、介助の方1名も同額割引

※前売券は主要プレイガイド ローションチケット(Lコード61611)

※本展ではミュージアム・パスポートはご利用になれません。

主催：クローン文化財展実行委員会(山陰中央新報社、公益財団法人しまね文化振興財団、東京藝術大学、島根県、島根県教育委員会)

後援：朝日新聞松江総局、産経新聞松江支局、中国新聞社、島根日日新聞社、新日本海新聞社、時事通信社松江支局、共同通信社松江支局、NHK松江放送局、BSS山陰放送、TSK山陰中央テレビ、日本海テレビ、エフエム山陰、山陰ケーブルビジョン、島根県視覚障害者福祉協会

協力：中村元記念館、株式会社IKI、東京藝術大学COI拠点、共同ピーアール、株式会社竹尾、小川香料株式会社、山陰インド協会、株式会社共同通信社

お問合せ先

山陰中央新報社文化事業局事業部

TEL 0852-32-3415 (平日10:00-17:00)



〒690-0049 島根県松江市袖師町1-5  
TEL:0852-55-4700  
http://www.shimane-art-museum.jp



- 交通案内
- JR松江駅から徒歩約15分
  - JR松江駅から松江市営バス(南循環線内回り)6分 →「県立美術館前」下車
  - 観光ループバス(レイクライン) →「県立美術館前」下車
  - 山陰道→松江西ランプ→車で約5分
- 駐車場
- 国道9号線袖師交差点南進(駐車場から地下道をご利用ください。) ※3時間まで無料